

2016年度 第2回 理事会議事録

日 時：2016年10月11日（火）10:30～17:00

場 所： エッサム神田2号館 2-401

東京都千代田区内神田 3-24-5

I. 開会 司会進行：大代専務

II. 会長挨拶 秋の彼岸では墓じまいという言葉が良く聞かれた。現状に甘んじるのではなく石材業界の未来図を描くような理事会、「お墓がある豊かな暮らしの道筋を切り開く」というテーマを持って臨みたい。

III. 議事

1. 議長選出：福川副会長 議事録作成人：事務局 長島きよ子

2. 定足数の確認：理事出席 62名（79名中）委任状 63名 監事出席 3名（3名中）顧問 0名 事務局 3名

合計：68名

議事録署名人の指名：正副会長より菊地氏及び監事より望月氏を指名

資料及び議題の確認・新議題の採択 議題は次第のとおり、新議題なし。

前回議事録の確認（メール配信済み）第1回理事会 第1回常任理事会 第2.3.4回正副会長会議

<会議の進め方：竹ノ内関連部会長より>

第1回理事会で、理事会が長い、生産性の高いものにしたいたいなどの意見があった。全国から70名余りが集まり1日をかけて行う会議を実のあるものにしたいたいと考え、今回もグループスタイルに。

チェックイン 自己紹介「自分を石に例えると」+「今日1日に期待すること」

グラドルール ①相手の意見を受け止める。 ②ひとり1～2分。 ③他の人に話す機会を与える。話す人はトーチキングオブジェクトをもち、終わったら戻す。 ④会話を創造的に楽しむ。模造紙の上はメモ、イラストなど自由に使う。 ⑤テーブルで進行役（ホスト）、発表者を決める。

【審議事項】

(1) 入退会について 入会 5名 退会 5名 大代専務 資料 P1

入会：所在地静岡県だが、神奈川県入会希望あり。所在地と入会支部が県境のため異なるが、これまでも事例有。静岡県北原支部長の異論ない。 **全会一致にて承認**

退会： **自動承認**

(2) 【災害対策本部】 熊本地震支援 事業報告・決算報告 射場会長 資料 P8

事前準備ができていたこと、協力者の意識が高かったことにより3日間の予定のところ半日で作業終了したため、予定していなかった区画、墓地にも支援。多くの会員から参加希望があったが、受け入れ態勢の都合ですべての会員に参加してもらえなかった。当会、施工協会、全優石の3団体で協力し支援にあたった。あわせてスライド上映。

玉田 私は大分で熊本から少し離れているが、ご協力に感謝します。

金子 あとは現地で対応できるが、阿蘇山の噴火があり、災害が続くことも不安。

全会一致にて承認

(3) 【広報】 お墓参りの日 2016 の展開 上野委員長 資料 P10

4年目を迎えたこの事業に対し行った会員アンケートで、タレント起用の意見があったが最低2千万円の費用がかかる。来年度も引き続き行いたいので早めに着手していく。

米本 折り目なく届くのはよい方法だが、意外と送料がかかることに気付いた。良い事業なので継続してほしい。

吉田 来年はこのポスターは使用できないのか。

上野 女の子の起用に契約期間があるため、来年のものを考えている。

金子 寺院でも好評で積極的に貼ってくれた。

戸高 事務局での配送作業が必要なら埼玉は近いので手伝うこともいとわない。

全会一致にて承認

【協議事項】

(1)「お墓参り」という習慣を見つめ直すための啓発活動

射場会長 資料 P15

お墓離れを結果にはしてはならないと思っている。啓発活動はかねてより考えていたことだが、映画を作ることに限った意見が欲しいわけではない。「お墓参り」という習慣を見つめ直すための啓発活動として、予算を考えず行うとしたら、映画以外のこういった手段があるか。

—グループ討議—

- table11.** (西山) 一族の墓に限らず夫婦墓など個人の墓をもっと広める。地震に強いお墓、宗教色のうすいものなど。
- table10.** (三上) 映画は一過性のもの、小さいことの積み重ねが必要と思う。例えば YOUTUBE、テレビ CM などストーリー性のあるものを会員のネットワークを駆使し、地方から発信。青汁のようにお墓参りしたら元気になったなど。先祖を敬う大切さを学校教育に取り入れてもらうために政治家の力を借りる。
- table9.** (瀬川) メディアの力は大きいけど映画の費用対効果はどうか。視聴率が取れるテレビ番組を使う。石材業界だけではなく寺院、教育場面とのタイアップを図り、お墓参りの習慣が多い県では非行が少ないことなどの検証。秋分の日、ポスターだけでなくお墓参りを讃えるイベントを開催する。
- table8.** (湯浅) まずは衰退の原因を探る、原因がわからないと発信する内容が定まらない。個店が地道に地域で活動し、そのバックアップとして新聞、TVCM を行う。寺院を巻き込み一緒に活動する。
- Table7.** (長江) 日々の SNS など情報発信が重要。情報を提供するためのネタを作りからプレスリリース。秋だけでなく春のポスターも。無縁で亡くなられた方の供養を業界として行う。若い僧侶、仏壇業界からも募り NPO 団体を立ち上げ、脳科学者などの意見も取り入れながら度肝を抜く企画 PR をできたら。
- table6.** (濱田) 啓発としての映画は動員数が少ないのでテレビニュース、新聞に力を注ぐ。啓発活動は細く長く。関係機関が協力してお墓参りの日を伝えるテレビ CM を作る。メディアに影響のあるタレント起用し、墓石の重要性を PR してもらう。
- table5.** (大石) 朝ドラなど脚本家に働きかけドラマの中で必ずお墓参りのシーンを作ってもらおう。そのドラマに嵐が出ていたら話題性も大きいので影響力のある人物を起用し、お墓参りの大切さを PR してもらう。子供のころから先祖の大切さを学校教育の場で伝えるためには政治家のバックアップ欠かせない。「石屋は儲かっている」「お墓はいらない」という若者の業界イメージを払拭する。個店単位ではリフォームできれいになることをもっと PR。
- table4.** (柴田) 墓参りよりも墓石づくりを重視。お墓文学賞など、メディアミックスを利用してから映画という流れが良い。タレント起用なら意外性のある人物、流行にのった人物が良い。(Sexy Zone やきゃりーぱみゅぱみゅ)。現代の死に関する感性をもっと深く調査する必要がある。映画製作なら 5 億円は必要?
- table3.** (杵掛) 墓参り + α (家族との幸せやつながりなど) をつける。メディアが動く彼岸などにあわせて提案。地域に合わせた啓発活動。秋分の日だけではなく毎月お墓参りの日があってもよい。
- table2.** (菊地) お墓参りで自然と人間性が豊かになることの検証。費用が膨大で簡単にメディアは使えない。
- table1.** (岡谷) お墓はなくてもよい⇒あった方がよいと思う人を増やす。生活環境の変化で一人暮らしが増えていることから個人のお墓を作るというストーリーはどうか。一般の方から募集したお墓参りの映画を会社やお寺で無料上映。お墓に関する映画を作って学校教育に取り入れる。

会長：やっぱりお墓があったほうがいい、お墓を建てるなら石で建てたいと思ってもらえるような啓発のために協議の機会を設けた。

(2)【公正競争規約】 委員会からの報告

白木副会長 資料 P19

白木副会長から説明。消費者のお墓に対するクレームが多い、協会としての対応ルールを作成し、最終的に行政に認められる協議会の発足を目指す。消費者目線であることが前提だが、業界全体の合意が必要。立場が違っていると意見が異なるので今後は部会での説明会、各支部地区での説明会、その後業界団体での説明会を開催。準備委員会設立、消費者庁との協議、各地で業界内外の関係団体を含み説明会及び協賛金募集、消費者団体への説明、パブリックコメントをとって修正という段階を踏んで進める。クレームの減少、消費者の信用を得ることを目的とする。

—グループ討議—

2016年度 第2回 理事会議事録

table1. (山本) 適正価格とは？石種名の統一だれが判断するか、協議会は規約を作成するところまでか、いつまで継続するのか。協議会への入会条件、違反の罰則はどうなるのか。

table2. (能島) 基本的には賛成もっと早くからあったら良かった。どこまでが国産と呼ぶのか。震災時の特例を作っては。法的拘束力はあるのか。

table3. (齋藤) 特別な質問ない、大変なことだが必要なこと。仏壇業界でも立ち上がったので墓石業界でも。

table4. (金子) 業界の底上げとして、団体としてのブランドとして必要。石材の専門であると同時にサービス業としての基本も忘れてはならない。墓理法との関連、地域性の問題、団体加盟することで十分クリアされることかなど問題点はいくつかある。

table5. (吉田) クレーム対象となる業者はどのような業者なのか。契約書を交わしていない石材店の割合は？消費者も契約書を望んでいない場合もあるので、石材業界だけでなく契約書が当たり前の世の中になるとよい。

table6. (屋良) 設立に必要な費用は？規約ができた場合違反者をだれが判断し裁くのか。仏壇以外で協議会がある業界の話も知りたい。

table7. (水野) クレームというより人としてどうなのか。地域性もあるので規則よりもガイドラインがあればよいのではないか。

table8. (井口) 規約はあって当たり前と思うが、実際、他団体も巻き込むことが出来るのか。地域性があるので統一したものが出来るのか。ペナルティを作るのか？だれが判断するのか、裁判になった場合に効力はあるのか。中国製品をどう扱うか。

table9. (藤田) 悪意のあるところは論外。高齢者や主婦でもわかるようなわかりやすいものにしてはどうか。

table10. (森田) 仏壇業界で規約作る前と後のクレーム内容を参考までに知りたい。適用範囲を墓石のみにするのか、施工まですべて含めるのか。

table11. (堤) 値段を納得したうえで購入する消費者もいる。

白木 現段階で回答できること

- ・適正価格の基準をどう作るか、非常に難しい。施工は地域性によっても違う。
- ・石種の判断は協会発行の規格カタログを基準にする予定。
- ・協議会は規約が出た後も継続し、会員からの会費で運営。違反の会員には罰則を設ける。行政に認められた規約になれば会員外であってもその規約にのっとって裁判される。
- ・協議会入会は任意。石産協会員の強制入会ではない、非会員でも入会可能。
- ・仏壇は純粋な国内生産は不可能だが、石材は可能。産地と加工について国内外を明確にしていく。
- ・震災時のガイドラインは気づかなかったのでよい提案、盛り込みたい。
- ・仏壇公正取引協議会とは今後もアドバイスをもらいながら進めていく。
- ・地域性の違いは大きいので地方に出向き意見を聞いていく。
- ・契約書のない場合、口約束でクレームが起こることが多い。それが業界の印象を悪くしているなら改めるべき。規約があれば消費者センターでもPRしてくれる。
- ・施工のクレームが多かったので施工も含める。

【報告・討議・依頼事項】

(1) 【総会】第8回定時総会 (日程・場所) 大代専務 資料 P24

2018年6月22日(木) 第一ホテル東京シーフォートで決定。実行委員長は谷合理事に。

谷合 総会テーマ、内容はこれから決定。今後地方での開催も考え、モデルになるようなコンパクトなものにしたい。

当日は北関東信越地区の会員に協力をお願いしたい。

(2) 【支部助成金】鳥取県支部 沖縄県戦没者慰霊碑「因伯の塔」清掃・補修事業 上田支部長 資料 P27

鳥取県佐治川石で作られ45年経過。地域貢献になる支部事業を考え、沖縄県庁、管理者からも了解を得た。

(3) 【支部助成金】奈良県支部なら燈火会「石灯りの小径」事業報告 大石支部長 資料 P29

例年と趣向を変え、石川県中川支部長の協力で地元の「彫ろう会」の作品を合同出品。近畿地区支部会員との親睦も深めた。他支部とのコラボレーションも考えたい。

2016年度 第2回 理事会議事録

中川 地元だけでなく県外への活動ができ、山川先生の引率で奈良の史跡見学もあり、有意義であった。

(4) 【地区】中国四国地区全体会議 (経過報告) 寺尾地区長 資料 P31

本日現在追加申込みあり、107名の参加。

(5) 【地区】近畿地区全体会議 (経過報告) 水野地区長 別添資料(申込用紙)

絶賛受付中、参加の要請。ストーンアシスト、次世代共育委員会のイベントも併設している。

(6) 【関連】ストーンアシスト2016 in Osaka (経過報告) 竹ノ内部会長 別添資料(招待状)

30社出展。お墓のリフォームをテーマに役立つ商品、ノウハウを紹介。震災時の石材店の対応をテーマに被災地の石材店によるパネルディスカッションを行う。プログラムは近日公開。地区大会の同時開催により集客を図る。

(7) 【関連】シナリオ・プランニング (経過報告) 竹ノ内部会長 資料 P32

コアメンバーにより定期的に開催している。来年の1月に合宿を予定し最高の未来シナリオを複数考え、来年度の発表を予定。石材業の未来に関する会員アンケートはいずれフィードバックする。

(8) 【採石】東京芸術大学主催「台北～東京 石の道 Stone Road in Taipei」事業協力 友常副会長 資料 P35

10/17 台北の画廊に招待されオープニングセレモニーに参加。今後もできる限り協力し関係を保つ。

(9) 【輸入卸】日中墓石交流会 望月部会長 資料 P36

なかなか前向きな話ができず、何かを決定する場にはならないが、中国企業あつて成り立つ墓石業界という部会の意見がまとまったため、協議会改め交流会として継続していく。部会員から2013～2015年の都道府県別納骨堂、合同墓の建設件数情報を集計し提出する予定。

(10) 【墓石】墓石保証サービス制度について 佐野部会長 別添配布

足かけ2年間かけて検討し、まとまったので、11月石産協通信に折込み申込みスタートする。

(資料に沿って損害保険ジャパン日本興亜から説明。)

能島 契約満了後の更新は？保険金限度額は30万円MAXか？

損保 保証期間は5年だが、希望があれば更新は1回のみ、最長10年まで。保険金30万円限度。

長江 千葉県の保険料が特別高いのは液状化が原因であろうが、一部の地域のためエリアで区別ができないか。

損保 都道府県単位でリスクの診断をしている。今後の運営の中で保証料の改定も考えたい。

(11) 【広報】エンディング産業展2016 上野委員長 資料 P42

来年度はストーンショーを実施することになるので展示内容を早めに決めスタートしたい。

(12) 【次世代】岡崎ストーンフェア交流会後援 山口委員長 資料 P47

10/15開催の交流会に後援し、協会のPR及びお墓ディレクター検定試験の告知もする。

(13) 【次世代】全国石材青年石材人研修・交流事業 in Osaka 山口委員長 資料 P50

委員会単体で企画してもなかなか動員できないのでSA、近畿地区大会にあわせて開催。非会員の参加も可能。

(14) 【お墓D】第13回お墓ディレクター会場詳細(地区担当) 湯浅委員長 資料 P53

今年度から受検者の目標者数を掲げた。担当地区長・副会長を軸にPRしてもらい途中経過は役員メールで報告。

毎年締め切りぎりぎり受検要項が手元にないという対応に備え、地区長あてに受検要項を5部ずつ配布予定。

協会としても大きな事業なので理事全員がディレクター資格取得を目指していただきたい。

(15) 【お墓D】駿台トラベル&ホテル専門学校受託_参考資料 能島委員長 資料 P54

専門学校生の受検オファーがあり、委員会で協議。正副では前向きに進めるよう意見あり、引き続き検討。

(16) 【啓発事業企画調整】ノウハウラッシュアップ「CONCERTO 幽霊船からのリアル脱出ゲーム」イベント 福川委員長 資料 P57

神戸港でのハロウィンイベントに出展オファー。ミニ石博のように石あかり、石工男子、ふるさとの石などで展示、PRを考えている。

(17) 【社会調査】第9回相談室各支部詳細 柴田委員長 資料 P61

お墓相談室単独ではなく、地元のイベントにあわせて集客を得る方法もある。

専務 対面ではどういった内容の相談が多く寄せられているのか報告を。

柴田 これまでのデータは内部資料として収集されているので委員会として集計し、発表する。

(18) 【顧客満足推進】顧客向け広報誌「いしずえ」制作代行について

【顧客満足推進】オリジナル年賀はがき作成について

能島委員長 別添配布

2016年度 第2回 理事会議事録

(以上2件について委託業者(錦明印刷)からの説明あり/9月の石産協通信に同封済)

- ・石材店向け広報誌「いしずえ」 既存の顧客とのつながりを持ち、新規顧客開拓のためのツール。レシピや仏事の心得など親しみやすい内容にし、主婦層ターゲットをに顧客拡大する狙い。
- ・年賀状 早期割引サービスあり。データの販売も可能。

(19) 【災害対策本部】墓地使用規則改定に向けた啓発 会長 資料 P62

管理者である熊本市が所有者の同意なしに安全確保のための石材の移動さえできないとのが一番の作業の障害であった。このことから、緊急時のみ管理者の権限で石材の移動を可能とする文言を契約書に加筆してもらうよう働きかける。まずは全日本墓園協会の協力を得て、管理者に向けた啓発を行う。

(20) ジャパンストーンショー2017 運営委員会 立ち上げについて 井口直前 資料 P65

2月末まで協会の出展料が割引対象になる。セミナー、イベントは決定次第報告していく。

(21) 野間神社について 小田支部長 写真投影

愛媛県今治市野間神社宝篋印塔(鎌倉後期/重要文化財)保存修理工事に日本石材材産業協会として協力参加の報告。*10/3 竣工検査のため最終結果は後日。

- ・重要文化財は公共工事のため、指名競争入札が行われるが、石工事の部分見積もりを提出し、正式に工事に携わることになった。少なくとも今後100年は手を入れなくても大丈夫なように修繕。
- ・公益財団法人文化財建造物保存技術協会(文建協)が補修の計画や指導を行う。
- ・所有者、氏子代表、文建協、元受け、石材店で工程会議を全9回開催し、その都度施工計画書を作成し、進めていくすべてを資料に落とし込んだ。
- ・愛媛県支部から6社が協力。受け持ちは石工事(石塔の補修、解体、組み立て、付属の石階段設置)、耐震に関わる土木工事は元請けの仕事。解体した作業員が組みたてることが条件だった。
- ・解体中に木札が発見され文建協が検分・記録することになりその間工事はストップ。2時間半後作業再開。
- ・仏様が彫ってある部分があり、方向が間違っていて設置されていた。官司もこの際それを修正して欲しいと言ったが文建協としては明確な理由がない限り、文化財現状維持が大原則で正当な理由なくして変更はできない見解のため、元あったように組みなおした。最終的に木札も元あったところに戻す。
- ・塔芯の下にふとんがつくのは尾道から今治の宝篋印塔様式のひとつで越智式ともいわれている。
- ・今回の工事は傾きを直すものだが、基礎は裏止めがまさつちだったため、四ツ石が内側に転がってしまい、土砂が流出していたことが原因だったよう。
- ・土台のうち転げ防止のために生コンを流したが、将来調査するときのために石と生コンの付着を防止する紙を貼り、生コン投入。
- ・材料は支部内で調達、作業に携わったメンバーには多くはないが支払う。
- ・石産協の名前を残したプレートを貼ることができた。
- ・愛媛県支部員の協力でできたが、携わるすべてのスケジュール調整が困難だったこと、文化財と墓石の施工とは違うので、作業にあたる人のコンセンサスの取り方が少々難しかったが、重要文化財の保護活動に携われたことは勉強になった。今回は国指定の重要文化財だが、都道府県指定のものは比較的携わりやすいかもしれない。

(22) いばらきストーンフェスティバル後援名義申請 大代専務 資料 P72

(23) 2016年度 賠償責任保険加入状況 9社加入(前年度:8社) 継続7社 大代専務 資料 P76

今年度も継続。100社目標だったため、3年目には掛け金が上がる可能性がある。正副で協議したい。

(24) 全日仏 熊本地震救援基金報告書 大代専務 資料 P78

熊本地震に対する義援金1万円を拠出。

(25) 会費未納者 大代専務 資料 P81

現在23社。支部長から確認を。

チェックアウト (グループ内で「一日の感想と明日以降できること」発表)

Table8. (赤川) 会議のやり方が変わって一人一人の意見が聞け、このスタイルが良いと思った

Table6. (屋良) 沖縄は今回2社入会があった。業界内問題も多いが全国各地のいい知恵を出していい方向に進むよ

2016年度 第2回 理事会議事録

う力になりたい。

Table3. (平川) 熊本地震では佐賀も揺れ、古い墓が倒壊することもあり、まだ修復している。自社では下請けに入らずできるだけ自社加工、自社施工を心がけ、この先100年続くよう、若返りも考え動いている。理事会で勉強し、地元を持ち帰りたい。

監事講評

望月：理事会だけで共有することなく、あまり参加しない会員に協会の活動をまず理解してもらうよう理事自ら動く。新しい事業もいいが、予算編成を見直していきたい。

斎藤：赤字にならないような理事会の運営を。

2016年10月11日

議事録署名人： 菊地善孝 ⑩

議事録署名人： 望月威男 ⑩

議 長： 福川修介

議事録作成人： 事務局 長島きよ子